



学校便り

旧制県立日見中学校

令和4年7月20日

第7号

文責 校長 平野

「自分未来会議」 ～ になりたい自分になる ～

終業式では、これから長期の休みを迎えるにあたってそれぞれが標記「自分未来会議」を開きなさい、と話しました。会議では、「問い」を立て、「今の自分」を確認し、「周囲の状況」を把握し、「やるべき行動」を決めていくのです。

例えばこれから受験に向き合うことになる3年生は、まず、「〇〇高校に合格するためにはどうすればよいのか?」といった問いを立てます。次に、学力などの自分の現在の状況を確認することが必要です。

そして、行きたい高校について把握するのです。まず高校が何を求めているのかを知るために、以下を参考にしてください。

【 高校が大切にしていることば 】

校訓等

- ・西高：「自律」
- ・瓊浦：「誠実
和 勤勉」
- ・長商：「誠実 明朗 進取」
- ・長工：「技術の神髄(しんずい)をつかめ」
- ・北高：「両道顕揚(けんよう)」
- ・海星：「神愛・人間愛」
- ・南高：「社会の幸福のためには自分がなくてはならないという 気魄と情熱に充ちた生徒」
- ・西陵(三領) 「ゆたかに(徳)・さとく(智)・すこやかに(体)」
- ・東高 「ともに生き ともに学び ともに良き世をつくる」
- ・長女 「私輝く 地域で輝く 真心の学園」
- ・旧制県立瓊浦中：「不撓不屈」



【 計画と実行 】

さらに、目標を達成するために必要なのは、「計画と実行」の力です。

ポイントは以下の3つがあげられます。

- ① 決まった時間の中で実現可能なものとする
- ② 長期・中期・短期の3つに分ける
- ③ 予定通りいかないときは柔軟に対応する

すぐやるべきことを考えるとともに、1カ月後の自分、1年後のになりたい姿をしっかりとイメージを持ちながら行動するのです。

高校受験に限らず、自分の明るい未来を実現するために、この夏休みを充実させて過ごすことを期待しています。



「日見未来会議」
パンフレットより

【 今後の主な行事 】

7月

- 21日(木) 職場体験事前訪問(2年)
- 22日(金) 職場体験事前訪問(2年)
- 23日(土) 県中総体1日目
- 24日(日) 県中総体2日目
- 25日(月) 県中総体3日目
保護者面談(8/1日まで)

8月

- 9日(火) 登校日・平和集会
- 10日(水)～15日(月) 学校閉庁日
- 19日(金) 全校登校日
- 22日(月)～24日(水) 職場体験(2年)
- 30日(火) 全校登校日・実力テスト

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」
～ 校長：命の講話 ～

「命の唯一性」・「命の多様性」・「いじめ」について、プレゼンテーションソフトを使いながら話しました。ここでは、いじめについてのスライドを掲載します。

いじめはなくせないのか？

いじめをなくすのは戦争をなくすことと同じくらい難しい。

では・・・

「それ恕（じよ）か」 論語より

子貢問いて曰く「一言にして以て終身之を行ふ可き者有りや」と子曰く「それ**恕**か。己の欲せざる所は、人に施すことなかれ」と

「ユネスコ憲章」より

「戦争」は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心の中に**「平和の砦」**を築かなければならない。

弟子が聞きました
「一生をかけて行すべきことを一言で表せますか」と
先生は答えました
「それは**恕**だ。自分がされて気持ちのよいことを他人にもしていこう」と

「いじめ」は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心の中に**「いじめを防ぐ砦」**を築かなければならない。

「いじめを防ぐ砦」？

恕 ≡ 仁 ≡



世の中からいじめをなくすのは、戦争をなくすのと同じくらい難しいことだと思います。そこで、何千万という人々が犠牲になった第二次世界大戦後、争いをなくしたいと必死で考えて定められたユネスコ（国連教育科学文化機関）憲章を、ヒントにしました。

心の中の「平和の砦」を「いじめを防ぐ砦」に置き換えています。孔子の教えにしたがい、「思いやり」をもって行動しようというのが結論です。後日、各学年とも道德の時間に「孔子」・「論語」・「仁」について学習しました。

ちなみに、最後のスライドで、鉄製の「重い槍」と「思いやり」をかけてみましたが、私のユーモアのセンスがいまいちだったのか、あまり笑い声がもれてきませんでした・・・。

